

令和2年11月号

米沢市在宅医療
介護連携支援センターたより

2020.11.19

今月号は、おいたまの郷法人主催の「家族の集い」で「エンディングノートについて」の「寸劇」を行ったときの様子をお知らせします。

～突然、大切な人に何かが起こったとき家族はどう選択しどう行動しますか～

センターからのお知らせ

将来の変化に備えた、「おしよしなノート（米沢版エンディングノート）**試作ノート**」ができましたので、皆様にお配りし、ご意見などを伺っております。

※ ご意見 記入用紙を作成しましたので、ご活用下さい。たくさんのご意見お待ちしております。



米沢市マスコットキャラクター

直江兼続／かねたん © aki okano

◆元気づちに意思表示をしていなかったケース
「エンディングノート」を書いていなかったケース



人工呼吸器、尿道カテーテル、抑制帯、点滴等色々な器材が装着された様子

会場からの感想等

・エンディングノートという重い。もう少し明るく手軽に書けるイメージだと良い。

・エンディングノートの存在は、知っていたが、難しいと思い書く気持ちにはなれなかった。今日のように、実際に目で見ると良く理解できた。このように、寸劇を見て、多くの方に普及啓発していけば良いと思う。今日、参加できて良かった。

・寸劇に参加して、もしもの時に備えて置かなければならないと実感した。エンディングノートを書こうと思った。

◆元気づちに意思表示をしていたケース
「エンディングノート」を書いていたケース



延命治療等について、
家族で話し合っている場面



延命治療等について、
エンディングノートに
意思表示していた場面